

第 6 回 教育委員会会議録（要点）

日時	令和2年4月10日（金）午後4時30分
場所	庁舎第3別館2階 会議室
出席委員	教育長 田坂敏、委員 村上浩一、委員 篠宮博幸、 委員 西原梨乃、委員 仁志川由香里
欠席委員	なし
会議に出席した者の職・氏名	事務局長 村上誠二、総務課長 片上裕之、 学校教育課長 大澤誠二 社会教育課長 神野秀夫、 文化振興課長 富田義勝、スポーツ振興課長 松本典久、 学校給食課長 越智淑人、総務課長補佐 別府昭信
傍聴人	報道1社1名
議題	議案第23号 今治市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について その他 令和2年度教科書採択について
田坂教育長	午後4時30分 開会を宣す。
田坂教育長	日程番号1、第2回、第3回、第4回の会議録を承認してよいか 問う。
一各委員一	承認する。
田坂教育長	日程番号2、会議録の署名委員に、村上委員、仁志川委員を指名 する。
田坂教育長	日程番号3、教育長報告を行う。 新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして、様々な会議が中 止・延期になっております。その関係で3月の今治市議会定例会で の議会報告ということで、一般質問に対するご報告をさせていただ いて教育長報告にかえさせていただきたいと思っております。 まず3月10日に永井隆文議員より教育現場における相談支援体 制に関しまして、「児童生徒に対する相談支援体制と現状につい

て」、そして「スクールロイヤーの認識と導入について」の二つのご質問がございました。

教育委員会としまして、児童生徒に対する相談支援体制の現状につきましては教育と福祉の両面に専門的な知識を持つ「スクールソーシャルワーカー」を9校に、臨床心理士等の専門的な資格を持つ「スクールカウンセラー」が11校、元教職経験者や民生委員等、各学校の校区に在住し児童生徒や保護者との相談活動を行う「ハートなんでも相談員」を28校にそれぞれ配置し、多種多様な問題について相談員との相談活動を通して問題の早期発見や早期解決につなげる等、成果を上げているとお答えさせていただきました。

また、スクールロイヤーの認識と導入につきましては、外部の専門家や専門機関と連携し相談員や教職員をサポートする体制の構築が重要であると認識していることをお伝えし、法律の専門家である弁護士から助言を受けることで難解な事案についても解決の糸口が見出せるものと考えていること、また愛媛県では学校からの要請に応じて電話相談や派遣要請ができる「スクールロイヤー活用事業」があり、本市においても年間数件ではございますがスクールロイヤーよりご助言いただき事態が好転した事例もあることをご報告し、今後も有効な活用について研究を進めてまいりたいとお答えしました。

次に、3月11日、松田澄子議員より、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関しまして、「小中学校の臨時休業中の対応について」のご質問がございました。

まず、心のケアについては全家庭を対象に家庭訪問を実施し、児童生徒に健康面、学習面の指導を行うとともに、不安なことの聞き取りを実施し解消に努めていること、また学習面においては、すでに学習している内容で休業中に家庭学習として取り組むべきドリルや問題集等のページを示したり、復習プリントを作って配布しているということ。登校日にも追加の課題を配る等して臨時休業期間に著しく学力や学習習慣が低下しないよう各校、関係機関と連携を図り児童生徒、その家族の心に寄り添った対応に心掛けていることをお伝えしました。

最後に、3月11日、谷口芳史議員よりプログラミング教育に関して、「プログラミング教育の考え方について」、「令和2年度の取り組みについて」、また「教える側の問題点について」、最後は「令和3年度以降の中学校での取り組みはどうか」との4点のご質問がございました。

まず、プログラミング教育の考え方についてですが、文部科学省作成の小学校プログラミング教育の定義に三つのねらいがございます。これらの実現を前提として、授業を通して子供たちがプログ

プログラミングに関する学習に取り組んだり、コンピューターを活用したりすることの楽しさや面白さ、物事を成し遂げたという達成感を持たせることが重要であるとお答えしました。

続いて、令和2年度の取り組みについてでございますが、令和2年度からはプログラミング教育が小学校の算数科、理科、総合的な学習の時間という教科等で実施されるということで、学習指導要領に則りプログラミングと学習内容等関連付けながら各教科の単元と年間指導計画に位置付けて実施する方向であるというふうにご説明させていただきました。

続いて、3番目の教える側の問題点についてですが、小学校の教員に対しては、県教育委員会が平成30年度から令和2年度までプログラミングスキルアップ研修を年3回開催し、プログラミング教材を活用した実習により教員のプログラミング教育に関する指導力の育成や不安解消に努めていること、またこの研修に今治市内の小学校教員も参加し、それぞれの学校で校内研修を開き、学習内容や指導方法のモデルを伝達しすべての教員が研修を行っている現状をお知らせいたしました。また本市教育委員会としまして、外部から講師を招き市内の教員を対象にプログラミングソフトを活用した実践的な研修を実施しており、来年度以降も引き続き実施する予定であるとお答えしました。

4番目の令和3年度以降の中学校での取り組みがどうなるのかということにつきましては、これまでの単元に加え令和3年度から新たにネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決という単元が追加されることになり、新学習指導要領を円滑に実施するため移行期間が設けられているので、先行して新たな学習内容を取り入れて授業を実施していくつもりであるというふうにお答えさせていただきました。

以上、議会報告をもって教育長報告にかえさせていただきます。

村上事務局長

同じく3月議会についてご報告させていただきます。

まず、3月4日に松田澄子議員から、令和元年度一般会計補正予算についてのご質疑がありました。施設管理費と施設整備費についてでした。

その内容は、1点目はGIGAスクール構想がどのようなもので、どのような事業を進めるのかということ。また、これによって学校にどのような変化がもたらされるのかというようなことでした。2点目は端末の整備が小学校5・6年生、中学校1年生が最初ということになっていたの、なぜこの学年なのかということでした。3点目は、どのような端末を整備する予定なのか、その調達方法はどのようにする予定なのかというものでございました。

これに対して、林局長からお答えをさせていただいております。

1点目、GIGAスクール構想とは、高速大容量の通信が可能な校内LANの整備、児童生徒1人に1台の配備予定であるタブレット端末が接続可能な無線アクセスポイントの整備、そしてタブレット端末を保管する電源キャビネットの整備を実施することであると答弁いたしております。

これによってどのような変化がもたらされるかという点については、リアリティのある資料提示ができたり、図形を移動させたり、回転させたり、あるいは切断して考えるときに頭の中での想像だけではなくて、実際にタブレット上でやってみることで、結果を目で確認することができ分かりやすくなることから、主体的な学習の促進が期待され、児童生徒間ではお互いの考え方を瞬時に表示し意見交換や発表が行えるようになるとの答弁を行っております。

2点目、なぜ小学校5・6年生、中学校1年生が最初なのかということにつきましては、当該学年に使用する教材等の開発が先行して行われている現状があり、それに対して導入を進めることで効果的な活用が見込めると国において判断したことによるものであるとの答弁をしております。

3点目、どのような端末を整備するのか、その調達方法はどのように考えているのかということについては、クラウドを中心としたICT環境が前提となっておりますので、インターネット利用に特化した比較的安価なタブレット端末の導入を想定していること、調達につきましては、国からは、スケールメリットによる費用低減が期待できるなどの理由により、県単位での共同調達を検討することが望ましいとされておりますので、愛媛県や他の市町と情報交換を行いながら進めてまいりますとの答弁を行っております。

次に、3月11日に松田澄子議員から「特別教室へのエアコン設置について」の質問がありました。特別教室のエアコン整備についてどのように考えているかのご質問でした。これに対しては市長から「特別教室のエアコン整備についても検討を重ねております。しかし現在、国では教育のICT化を基盤とした先端技術の効果的活用を図るためにGIGAスクール構想を推し進めております。当市においても校内LANの整備や電子黒板の配備などに多額の費用を要すること、また技術職員の負担増が見込まれることもあり、令和2年度におきましては、学校のICT化に注力してまいりたい。特別教室のエアコン設置につきましては、2年度から運用が開始されますので、普通教室のエアコンの稼働状況や特別教室での授業の実態などを踏まえて、検討を行ってまいりたい。」というふうな答弁を行っております。

田坂教育長	質疑はないか問う。
—各委員—	なし
	<議題審議>
田坂教育長	「議案第23号 今治市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について」説明を求める。
大澤学校教育課長	—「今治市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について」説明—
田坂教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
田坂教育長	次に、「その他」を議題とする。
田坂教育長	「令和2年度 教科書採択について」、説明を求める。
大澤学校教育課長	—「令和2年度 教科書採択について」説明—
田坂教育長	質問はないか問う。
—各委員—	なし
田坂教育長	他に何かあるか問う。
—各委員—	なし
田坂教育長	午後4時52分、閉会を宣す。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

村上委員 _____

仁志川委員 _____